

令和 7 年度

社会福祉法人富山市社会福祉協議会 事業報告

人口減少や少子高齢化の進展に伴い、地域におけるつながりの希薄化、ひきこもりやヤングケアラー、複合的な問題を抱える世帯の増加など、福祉課題は一層多様化・複雑化しています。

こうした状況のもと、本会では「地域共生社会」の実現に向け、令和 7 年度を初年度とする第 4 次地域福祉活動計画に基づき、「人づくり」「体制づくり」「地域づくり」を柱として各種事業を推進しました。

広報活動普及事業においては、広報紙や SNS 等を活用した情報発信の強化により、地域福祉活動への理解と関心を深め、参加に向けたきっかけづくりに取り組みました。また、福祉の講師派遣事業では、学校や地域団体等における講座や体験学習を通じて、福祉への理解促進と意識の醸成を図り、地域福祉を担う人材の育成につなげ、さらには、ボランティアセンター運営事業においては、活動のコーディネートや情報提供を行うとともに、関係機関との連携を図りながら、多様な主体の参加による地域支え合い活動の推進に取り組みました。

ケアネット事業及び生活支援体制整備事業では、地域住民主体による見守りや居場所づくりなどの活動を推進し、地域における支援体制の強化を図り、生活困窮者自立支援事業及び福祉後見サポート事業では、複合的な課題を抱える世帯に対し、関係機関と連携した総合相談支援を実施し、ワンストップによる早期支援に努めました。

加えて、子育て応援事業では、「こどもまんなか社会」の実現に向け、子育て講演会など地域の実情に応じた子育て支援活動を推進しました。

これらの事業の実施にあたっては、経営改善の視点を踏まえ、事務事業の効率化や経費削減に努めるとともに、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を意識しながら、持続可能な地域福祉の推進に取り組みました。

今後も、地域住民との協働及び関係機関・団体との連携を一層強化し、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現に向けて、各種事業の充実に努めてまいります。

令和 8 年 6 月

社会福祉法人富山市社会福祉協議会
会 長 高 城 繁